



発行所 東海新報社 7022-0022 大船渡市大船渡町字藤原9-1 電話 番号 0192-27-1000 0192-27-2154 ファクシム 0192-27-2154 振替 口座 02300-9-188 ©東海新報社 東海新報Web http://www.tokai-shimpu.com/

きょうの紙面 「生きていて」海外からも捜索隊……1面 安否確認と避難者名簿陸前高田市、大船渡市……2・3面 避難所の声・食料やライフラインなどの生活情報……4面

安否情報・伝言メモ 本紙は、安否情報や伝言メモを本紙で随時受付しています。紙面を自由にお使いください。また、窓口で当日発行紙を置いていただきます。避難場所でもご覧になれます。 東海新報社

# 生きていて 望み捨てず

## 東日本大震災

# 海外からも捜索隊

## 避難生活 燃料確保の不安続く



気仙沼に壊滅的な被害をもたらした東日本大震災発生から4日が過ぎた15日、被災地では自衛隊員の消防関係のほか、海外からの派遣団員らが捜索活動にあたった。家屋が倒壊し、避難所生活を余儀なくされている住民は依然多く、生活物資や燃料が乏しい中、公共施設などに身を寄せる地域住民は互いに励まし合いながら支援を待ち続けている。

### 大船渡市

大船渡市によると、15日午後4時現在、市内での死者数は206人。地区別内訳は、未崎12人、大船渡18人、赤崎48人、蛸ノ浦5人、盛4人、立根1人、越喜米101人、綾里7人、吉浜3人、不明7人、14日より6人増え、いずれも大船渡町内で発見された。遺体安置場所は、大船渡町内では西光寺と本増寺、盛町は洞雲寺と浄願寺、未崎町は祥生寺、救助犬とともに捜索活動を行っているアメリカ人の救助隊員、大船渡町

### 行方不明者 1726人

長も「今ほどにたくかソリン、灯油の要望が多い。早急に対応してほしい」と語る。同日市役所に訪れた陸前高田市の消防団員や、県内の災害支援要員を取りまとめる主催者、参議院議員も訴えた。県内外から派遣を受けた自衛隊員、消防救助隊員、警察救助隊ら1000人を超える規模で捜索活動を展開。国際援助隊としてアメリカ、イギリス、中国から合わせて225人、救助犬14匹も参加し、主に大船渡町北側の茶屋前地域などで捜索にあたった。

### 大船渡合庁に長蛇の列

#### 安否確認、情報通信を求め

「災害電話」に人々殺到 大船渡地区合同庁舎で15日、緊急連絡用電話(災害電話)利用者や避難者の安否情報を求める人々の長蛇の列ができた。災害電話は、14日午後6時過ぎから庁舎1階の県民ホールにNTTが15台の電話機と衛星電話3台を設置し、無料提供を開始。それ以前は大船渡消防署に設置されていたが、救急活動の支障にならないよう合庁に移した。

### 市営住宅など入居募集

#### 母子支援施設つばき荘も

東日本大震災を受けても募集している。市内の避難所に避難し、75歳以上が障がい者、世帯員が2人以上を条件に募集している。大船渡市は、大船渡市入居希望者があがる場合は、抽選によって決める。

### 亡くなられた方々 15日分

大船渡、陸前高田市が15日に発表した新たな犠牲者は次の通り。 (大船渡市) 中嶋勝治郎(大船渡町) 野々田 晋野恵美(赤崎町) 石橋 上野完次(住所不明) 及川七子(大船渡町) 明神前 浅野実樹(盛町内) (陸前高田市) (目) 平山俊二(大船渡町) 新田 志田松男(赤崎町) (浦) 千葉信郎(同) 志田 伸子(同) (陸前高田市) 中嶋勝治郎(大船渡町) 野々田 晋野恵美(赤崎町) 石橋 上野完次(住所不明) 及川七子(大船渡町) 明神前 浅野実樹(盛町内) (陸前高田市) 中嶋勝治郎(大船渡町) 野々田 晋野恵美(赤崎町) 石橋 上野完次(住所不明) 及川七子(大船渡町) 明神前 浅野実樹(盛町内) (陸前高田市) 中嶋勝治郎(大船渡町) 野々田 晋野恵美(赤崎町) 石橋 上野完次(住所不明) 及川七子(大船渡町) 明神前 浅野実樹(盛町内) (陸前高田市)



薬の処方を受け付け順番を待つ患者一県立大船渡病院

## 薬不足が深刻に

### 県立大船渡病院 医療物資の供給急務

気仙の中核病院である県立大船渡病院(八島良幸院長)は現在、災害救急医療体制をとって、通常の外来診療は行っていない。電気、水道などのライフラインはほぼ復旧したが、震災による影響で薬や入院患者の給食材料が不足しており、これらを含めた医療物資の供給が急務となっている。

同病院では、14日から院内での薬の処方を開始し、他の医療機関の受診者を含めた多くの患者が朝早くから病院を訪れる。同病院内の受診者は、処方箋をもらって処方されるが、在庫が底をつきそうだと、一日も早い医療物資の供給を訴えている。

同病院によると、約340人の入院患者の必要分を含め、薬の在庫は乏しく、最大でも3日分しか処方できない状況。八島院長は「このままでは患者の診療業務が滞り、ギリギリの状態だ」と、一日も早い医療物資の供給を訴えている。

一方、透析医療を行っている大船渡町の地ノ森クリニックでは震災直後、透析が必要だった患者約30人を内陸の医療機関に搬送するなどの治療対応に当たった。13日夜に電気が復旧したことを受けて14日からは透析治療を再開し、現在、一日に最大57人の患者の透析に対応しているという。

大船渡市内では15日、大船渡町の菊池内科医院、岩瀬内科、猪川町のせんだい内科クリニック、伊藤耳鼻咽喉科、及川皮膚科クリニック、三陸町の越喜米診療所(花菱製薬診療)の6医療機関が診療を実施。院外処方は大船渡町のコスモ薬局、猪川町のよさこ薬局、どりーむ薬局、つくし薬局の4カ所で行われている。

薬の処方には原則として医師の処方箋が必要。県立大船渡病院や各薬局で薬の処方を受けられる場合、お薬手帳や薬の使用履歴が確認できるもの、薬の現物を持参するようにと呼びかけている。

大船渡市赤崎町合庁舎で15日、緊急連絡用電話(災害電話)利用者や避難者の安否情報を求める人々の長蛇の列ができた。災害電話は、14日午後6時過ぎから庁舎1階の県民ホールにNTTが15台の電話機と衛星電話3台を設置し、無料提供を開始。それ以前は大船渡消防署に設置されていたが、救急活動の支障にならないよう合庁に移した。

15日早朝から順番を待つ列が庁舎を取り囲んだ。2時間ほどの状態で、ホールの中で受話器を握り締め家族や親戚、友人に無事を知らせたり、安否を確認し合う声が響いた。災害電話に殺到する人々大船渡地区合同庁舎1階県民ホール

大船渡市赤崎町合庁舎で15日、緊急連絡用電話(災害電話)利用者や避難者の安否情報を求める人々の長蛇の列ができた。災害電話は、14日午後6時過ぎから庁舎1階の県民ホールにNTTが15台の電話機と衛星電話3台を設置し、無料提供を開始。それ以前は大船渡消防署に設置されていたが、救急活動の支障にならないよう合庁に移した。

大船渡市赤崎町合庁舎で15日、緊急連絡用電話(災害電話)利用者や避難者の安否情報を求める人々の長蛇の列ができた。災害電話は、14日午後6時過ぎから庁舎1階の県民ホールにNTTが15台の電話機と衛星電話3台を設置し、無料提供を開始。それ以前は大船渡消防署に設置されていたが、救急活動の支障にならないよう合庁に移した。

合庁4階が緊急避難所に

代表は「研修生の4人はauの国際電話で無事を知らせた。社員1人が現在行方不明で、生存している様子はない」と語る。県庁職員8人が大船渡と陸前高田の両市役所に派遣され、支援にあたった。 大船渡市 大船渡市は、被災者や避難者の安否確認や情報通信を求め、市内の避難所に避難し、75歳以上が障がい者、世帯員が2人以上を条件に募集している。大船渡市は、大船渡市入居希望者があがる場合は、抽選によって決める。